

ピアノ公開レッスン

講師：ヤコブ・ロイシュナー

2025年11月5日(水) 16:30開演(16:00開場)

会場：講堂小ホール 入場無料

通訳：江澤 聖子(本学教授)

～～ヤコブ・ロイシュナーによるミニコンサート～～

こどもの情景 作品15.....R.シューマン(1810-56)
 Kinderszenen Op.15 Robert Schumann

3つの間奏曲 作品117.....J.ブラームス(1833-97)
 Drei Intermezzi Op.117 Johannes Brahms

～～公開レッスン～～

1) 北林 繭太郎(学部3年) KITABAYASHI Mayutaro

24の前奏曲とフーガ 作品87より第24番 ニ短調.....D.ショスタコーヴィチ(1906-75)
 From 24 Preludes and Fugues Op.87 No.24 d-moll Dmitri Shostakovich

2) 江崎 明花(学部4年) ESAKI Meika

ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 作品36(1931年改訂版) 第1楽章.....S.ラフマニノフ(1873-1943)
 Sonata for piano No.2 b-flat minor Op.36(1931version) 1st mov. Sergei Rakhmaninov

～～講師プロフィール～～

ヤコブ・ロイシュナー (Jacob Leuschner)

1974年フライブルクに生まれ、フライブルクとリュベックの大学にて学ぶ。これまでにヘルムート・バルト、ミシェル・ペロフ、コンラート・エルザー、レオナルド・ホカンソンの各氏に師事。1989年からはソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパ各国や日本、中国、韓国、アメリカでコンサート活動を行い、多くの国際音楽祭に招かれ定期的に出演している。

ベートーヴェン(ウィーン)、ヴィオッティ、シューベルト(ドルトムント)、モーツァルト(ザルツブルク)、リーズ、モンツァ、ドイツ音楽コンクールなど数々の国際コンクールでの受賞、及びポッセル音楽賞、カイ・ウーヴェ・フォン・ハッセル賞、ヴィースバーデン・モーツァルト賞を受賞している。

これまでに、リュベック音楽大学で教鞭をとり、ワイマールのフランツリスト音楽大学で客員教授を務めた。2008年から2014年まではケルン音楽大学で教授を務め、その後デトモルト音楽大学で教授となり現在に至る。また、定期的にヨーロッパ諸国、日本、中国、韓国でマスタークラスを行っている。

レパートリーはルネサンスから現代にまで及ぶ。特にウィーン古典派の作品を得意とし、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトの全てのピアノ・ソナタを連続演奏会で繰り返し演奏してきた。

国際ピアノコンクールの審査員としても活躍。デトモルトブラームス国際ピアノコンクールを創設し、その芸術監督も務めている。

M.レーガーのチェロとピアノのための作品全集(チェロ：グイド・シーフェン/オームス・クラシックス)といった数多くの室内楽作品のほか、ベートーヴェンの後期ソナタやリストの編曲作品などをリリース。2017年には2枚のソロCDに加え、モーツァルトのピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲(ヴァイオリン：漆原啓子/日本アコースティックレコード)がリリースされ、日本文化庁より優秀賞を受賞した。2019年12月にはベートーヴェンのディアベリ変奏曲がパーフェクトノイズレーベルからリリースされた。

※ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※ やむを得ない事情により出演者や内容等が変更になる可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

